

令和 5年度予算見積調書

課室名：地域政策課
 担当名：地域振興担当
 内線：2774

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P19	新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生推進事業費			一般会計	総務費	市町村振興費	市町村連絡調整費	地域づくり推進事業費		
事業期間	令和3年度～令和5年度	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 11, 8, 12, 17	
						分野施策	0802	地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット 11-3, 11-a, 8-5, 8	
1 事業概要				5 事業説明						
<p>全国的に人口減少が進む中、県人口も令和2年をピークに減少局面へと向かっており、今後、地域の担い手不足などが想定される。また、人口減少に加え、新型コロナウイルスの影響により生じた「新しい生活様式」など、様々な変化に対応することも求められている。この新しい生活様式をチャンスに変える地域づくりや地域特性に応じたコロナ後の地方創生を推進する。</p> <p>ア 新たな地方創生 調査・分析・企業連携事業 21,306千円</p> <p>イ 未来会議推進費 6,000千円</p>				<p>(1) 事業内容 新たな働き方・暮らし方の拡充などを踏まえた地方創生を推進するため、地域の特性を生かした官民連携のモデル事業を実施する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 新たな地方創生 調査・分析・企業連携事業 県内10の地域ごとに開催している「地域の未来を考える政策プロジェクト(未来会議)」で企画立案した官民連携の地方創生事業を実施する。 (ア) 女性の活躍とヘルスリテラシー普及促進事業(東部地域振興センター) (イ) 利根版グリーンツーリズム事業(利根地域振興センター) (ウ) デジタルによる地域活性化事業(北部地域振興センター) イ 未来会議推進費 県と市町村の連携による地域課題への対策を推進するため、未来会議での十分な議論を通じて、市町村の施策立案・実施、県重点事業の活用、県・市町村の圏域事業の実施など効果的な取組を行う。</p> <p>(3) 事業効果 ア 地域の特性を生かした地方創生の推進により、魅力あるまちや地域の形成が図られる。 イ 未来会議での十分な議論を通じて、地域の課題解決に向けた事業が実施される。</p> <p>(4) 民間・民間活力、企業社員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 事業を効果的に実施するため、庁内関係課、市町村、民間企業と密接に連携して事業を実施する。</p>						
2 事業主体及び負担区分										
ア デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2・県1/2)										
イ (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×2人=19,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金								
決定額	27,306	10,613						16,693	△14,994	
前年額	42,300	21,150						21,150		

事業内訳書

事業名	新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生推進事業費		
単位事業名	新たな地方創生 調査・分析・企業連携事業	予算額	21,306千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	480	30	啓発資料の取材・編集謝金 8人分(東部地域振興センター) 講師謝金 8研修会分(東部地域振興センター)
旅費	80	△60	関係者との打合せ 40回分(東部地域振興センター)
役務費	210	△240	講師謝金 7研修会分(東部地域振興センター)
委託料	18,086	△21,974	女性の活躍とヘルスリテラシー普及促進事業 2,310千円(東部地域振興センター) 利根版グリーンツーリズム事業 6,776千円(利根地域振興センター) デジタルによる地域活性化事業(プチ・ワーケーション事業分) 1,000千円(北部地域振興センター) デジタルによる地域活性化事業(eスポーツ支援事業分) 8,000千円(北部地域振興センター)
使用料及び賃借料	350	150	会議室使用料 7回分(東部地域振興センター)
負担金、補助及び交付金	2,100	2,100	デジタルによる地域活性化事業(eスポーツ支援事業分)(北部地域振興センター)
合計	21,306	△19,994	

単位事業名	未来会議推進費	予算額	6,000千円
-------	---------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	800	800	講師謝金 1センターあたり80千円(2人分)
旅費	665	665	研修会等出張旅費 5センター分
需用費	2,000	2,000	未来会議開催諸経費 10センター分
役務費	400	400	講師謝金 1センターあたり40千円(1人分)
委託料	1,500	1,500	企業ニーズ等の調査費用 3センター分
使用料及び賃借料	600	600	会議室使用料 1センターあたり60千円(4回分)
負担金、補助及び交付金	35	35	研修会参加費 5センター分
合計	6,000	6,000	